

2026 年度 興生会 GH 地域連携推進会議 報告書

【開催日時】2026 年 7 月 14 日(水)10:00~12:20

【開催場所】就労支援センターグリーン・くつろぎ喫茶

【出席者/構成員】 7 名

ご利用者様	A 様(GH ねぎし)、B 様(GH はぐろ)	
ご家族様	C 様(A 様の妹。面会頻回、自宅に毎月外泊をさせてくれている)	
地域住民代表 (欠席)	D 様(グループホームへいわ隣人。へいわ利用者との交流がある。平和町町内会班長。地域の顔役) ※諸事情により当日欠席されました。後日、資料・議事録をお届けしました。	
福祉の知見のある方	E 様(ケア&サポートはばたき勤務の精神保健福祉士。生活訓練施設やまぶきの元施設長)	
当法人職員	沢田嘉代子(興生会障害福祉サービス事業代表)	
当事業所職員	工藤久美子(興生会グループホーム/管理者)	※進行
	佐藤大知(興生会グループホーム/サービス管理責任者)	※記録

【議事内容/当日の進行】

1. 開会のあいさつ
2. グループホーム5か所見学(はぐろ→ねぎし→みずほ→たんぼぼ→へいわ)
3. 地域連携推進会議の目的の説明
4. 基本方針の説明(興生会障害福祉サービス事業およびグループホーム)
5. 支援体制(7/14 現在)
6. 令和 8 年度事業計画
7. 人権擁護の取り組み
8. 質疑応答・意見交換
9. 閉会のあいさつ

【質疑応答/ご意見など】

E 様「スタッフが常駐していないグループホームでは、災害時に混乱して迅速な対応ができないことがあります。利用者の中からまとめ役、つまりリーダー的な人を事前に決めておいて、職員が到着するまで対応を任せるのはどうでしょうか。期間は 1 カ月ごとでもいいと思います。災害時以外でも、トラブルやもめごとがあったときにスタッフへ連絡する役割

を担ってもらえばいいですし、GH 内の人間関係のバランスを取る役割も期待できます。」

沢田「確かに、スタッフが常駐していないホームではそうしたまとめ役がいると助かりますね。ただ、グループホームの利用者は「共同生活をしよう」と思って来ている人たちなので穏やかな方が多く、トラブルはほとんどありません。」

工藤「次の避難訓練の際に利用者さんたちと話し合ってみます」

E 様「最近、気になっているのですが、デイケアを休む際に連絡をくれる利用者もいれば、無連絡の方もいます。本人が GH にも休むことを伝えていけばいいのですが、そうでない場合は GH スタッフが『今日はデイケアに行っている』と思い込んでしまう。実際は外出していて、何かあったら怖いですよ。」

工藤「その点は確かに課題です。玄関にホワイトボードを設置して予定を記入していますが、実際に日中活動に行っているかどうか、完全には把握できていません。朝の巡回時に在所していれば休みだと判断しますが、実際には違う場合もありますので、何かあったら怖いです」

E 様「デイケアに来ることになっているのに、連絡がないと何かあったのではと心配になります。デイケアが GH に伝えないで何かあったら・・・とも思いますが信頼関係の問題ですよ。」

C 様「日中活動を休むとき、本人たちはどうやって連絡しているんですか？」

工藤「日中活動を休むときは、各 GH に設置している電話や個人のスマホで連絡してもらっています。」

C 様「今の説明でよくわかりました。兄が「ねぎし」からスタッフがいる「みずほ」に移ってからは安心してしています。最初は本人も『ねぎしに戻りたい』と泣いていましたが、今は慣れて落ち着いています。」

沢田「それは良かったです。利用者によっては、スタッフが長く GH に滞在すると落ち着かない方もいますし、逆に安心する方もいます。個別対応が必要ですね。」

E 様「免許更新の話が出ましたが、一般就労している方は月いくらぐらいもらっているのでしょうか？自立できる収入があるなら、次のステップを考えてもいいと思います。GH は通過施設ですから。」

工藤「一般就労の方は月 8～9 万円ほどです。完全に自立するにはまだ難しいですね。」

沢田「車を持ちたいという利用者もありますが、維持費や免許の更新などの負担を十分理解していないことが多いです。以前は免許が身分証明書の役割もありましたから、更新しないという選択肢はなかったようです。」

B 様「私は今月誕生日なので免許更新をしないといけません。仙北警察署に行く予定です。」

C 様「うちの兄も免許を更新しています。アンケートで『車を持ちたい』という方がいるのは驚きました。」

C 様「資料に障害者スポーツ大会とありましたが、フライングディスクという競技もあるんですね。」

沢田「はい、簡単にいうと「フリスビー」を枠内に投げ入れて点数を競うスポーツです。県の障害者スポーツ大会ではフライングディスクや卓球、ボウリングなどに多くの方が参加しています。『チーム未来』のバレーボール部も活躍しています。」

B 様「私もデイケアで卓球をしています。大会に出る人は多いんですね」

工藤「GH からも大会に参加している方がいるので、来年ぜひ申し込んでください」

A 様「今日は久しぶりに「ねぎし」に行けて嬉しかったです。友人の H さんにも会えました。僕は日中はデイサービスに通っていて、午前が入浴、昼食後は昼寝、午後はレクリエーションをしています。」

E 様「昼寝の時間を設けているのは介護施設的な運営ですね。GH ではもう少し自立的な生活を促してもいいかもしれません。」

工藤「疲れていたり精神的に不安定なときは休んでもらって大丈夫です。日中の過ごし方については、今後の課題ですね。」

工藤(閉会挨拶)「地域連携推進会議の構成員として 2 年間、ありがとうございました。今後も地域全体で支援体制を強化していきましょう。」

【まとめ】

今回は、就労支援センターグリーンの「くつろぎ喫茶」で飲食を楽しみながらの、和やかな雰囲気での会議となりました。会議に先立ち、参加者で各グループホームを見学し、利用者の生活環境や支援体制を直接確認しました。スタッフ不在時間帯の様子や、利用者同士の関係性、ホームごとの特色などが共有され、現場理解を深める貴重な機会となりました。

会議では、災害時の対応として、スタッフ到着までの間に利用者の中からリーダー役を決めておく案が提案され、次回の避難訓練で協議することが確認されました。また、日中活動を休む際の無連絡による安全確保の課題が挙げられ、連絡体制の改善が必要であるとの認識が共有されました。

さらに、一般就労者の収入や免許更新の必要性について議論され、生活設計支援の重要性が示されました。障害者スポーツ大会への参加促進についても話し合われ、スポーツを通じた地域交流の広がりが期待されています。

最後に、地域全体で支援体制を強化していく方針が確認され、会議の構成員として2年の任期を終えた参加者たちの協力に感謝が述べられました。